

# 第15回 NCGM 国際感染症フォーラム

The 15<sup>th</sup> NCGM  
International Infectious  
Diseases Forum

## 開催日程

2023年1月17日(火)

15:00 - 17:45

## プレゼンテーション形式

Online (ZOOM)

## 言語

日本語 / 英語 (同時通訳)

会費  
参加費  
無料

[オンライン申し込みはこちら](#)



オンラインからお申込み出来ない場合は、  
NCGM 国際感染症フォーラム事務局までご連絡  
お願いいたします。

## 今、注目される感染症の最新情報

— 予防から治療まで —

今回のフォーラムでは、新型コロナウイルスを中心とした感染症に関する最新の話題を取り上げ、ご専門の先生方ならびに製品開発のご担当者にご登壇いただくことになりました。また、前回フォーラムでご紹介しました ARISE (ARO Alliance for ASEAN & East Asia) に新たに加盟したインドネシア Siloam Hospital Group から、臨床研究ユニットについてご発表していただきます。

## プログラム

15:00-15:05 開会挨拶

国土 典宏 先生 (国立国際医療研究センター理事長)

15:05-15:25 NCGM 国際臨床研究ネットワーク：ARISE 施設紹介

インドネシア最大の私立病院グループにおける臨床研究ユニットの開発と展望  
ディナ・ニラサリ 先生 (インドネシア：Siloam Hospital Group)

15:25-17:33 シンポジウム：今、注目される感染症の最新情報  
— 予防から治療まで —

座長：大曲 貴夫 先生 (国立国際医療研究センター国際感染症センター長)

① 製品情報 -1：速乾性オゾン化アルコールを用いた新たな消毒剤の開発  
吉田 英一 先生 (株式会社 E テック 代表取締役社長)

② 学術講演 -1：SARS-CoV-2：最新の知見  
河岡 義裕 先生 (国立国際医療研究センター国際ウイルス感染症研究センター長 /  
東京大学医科学研究所ウイルス感染部門名誉教授・特任教授)

③ 製品情報 -2：COVID-19 パンデミック下における SARS-CoV-2 感染症治療薬の開発  
上原 健城 先生 (塩野義製薬株式会社 執行役員・医薬開発本部長)

④ 製品情報 -3：ヒトサル痘をはじめとする感染症に対するワクチン開発の現状  
園田 憲悟 先生 (KMバイオロジクス株式会社 研究開発本部製品開発部長)

⑤ 学術講演 -2：ヒトサル痘：2022年に発生した世界的流行の背景と治療・  
予防のあり方  
西條 政幸 先生 (札幌市保健福祉局保健所医療政策担当部長)

⑥ 座長講演 総括：臨床における最新の知見から  
大曲 貴夫 先生 (国立国際医療研究センター国際感染症センター長)

● 総合討論 / 質疑応答

17:33-17:38 次回開催案内

NCGM 国際感染症フォーラム事務局

17:38-17:45 閉会挨拶

杉山 温人 先生 (国立国際医療研究センター病院長)

NCGM 国際感染症フォーラム事務局

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

臨床研究センター インターナショナルトリアル部

TEL : 03-6228-0445 FAX : 03-6228-0486

e-mail: kansensho-forum@hosp.ncgm.go.jp